



入学式

オープンキャンパス2017



NIT, Gifu College

岐阜高専 だより

National Institute
of
Technology,
Gifu College

第132号

2017.9.30

独立行政法人 国立高等専門学校機構
岐阜工業高等専門学校

〒501-0495 岐阜県本巣市上真桑 2236-2

TEL : 058-320-1211

H P : <http://www.gifu-nct.ac.jp/>

CONTENTS

- 2 校長所感
- 3 教務主事・学生主事所感
- 4 新入生紹介
- 6 学級担任紹介
- 9 東海地区高専体育大会結果
- 10 全国高専体育大会結果
平成28年度学業成績優秀者賞表彰
- 11 公開講座・入試説明会
- 12 新任教職員紹介
- 13 教員・職員人事異動
- 14 校外実習報告
- 15 海外インターンシップ
- 16 海外インターンシップ
研究室紹介
校内ニュース
- 18 公開講座紹介
- 19 学寮ニュース
- 20 クラブ紹介・ロボコンチーム紹介



機械公開講座

全国高専体育大会

校長所感



校長就任1年を経て

校長 伊藤 義人

平成28年4月に、岐阜高専の校長に就任して1年以上が経ちました。就任早々から、種々の課題に気づき、主管会議や運営委員会のメンバーらと相談して対処してきました。また、1年目と同様に2年目も全教員の研究室を訪れて、先生方の自己評価と他者評価を基に、今年度の計画や課題を伺いました。非常勤を含む全ての事務職員や技術職員とも話す機会も持ち、岐阜高専の教職員の方々が、抱えている課題や運営上の改善点を伺いました。

項目別に最近の課題を以下に示します。

1) 高専イニシアティブ

前回報告した高専4.0イニシアティブは、優先順位1位として提案した「地域に根ざした次世代を担う課題解決型グローバル人材育成事業」が採択され、事業費として約1,400万円強が措置されました。第4期中期目標・中期計画に向けて、岐阜高専の強みを活かして、その高度化と個性化をはかります。

2) 快適で健全な寮生活の保証

昨年度対応した寮の課題は、1年生だけに適用されていた寮内のルールを全廃して、全ての寮生に適用されるルールだけを設定して、より快適で健全な学生生活を保証しました。今年に入って、寮生活の消灯時間が、1～3年生は深夜1時半、4～5年生は自主性を重んじて規定無しということに気づきました。最も基本的な健康に関する規則が、2人部屋が多い状況で、1日8時間の睡眠を保証していない状況を改善するため、寮務主事らに検討をしてもらいました。通常の集団生活では、消灯時間（就寝時間）が定められており、早い場合は9時、遅くとも11時が普通です。とりあえず全寮生に対して、消灯時間を11時半に改めることになりました。最終的には、11時にしたいと思っています。勉強などの理由でやむを得ない状況のときは、消灯後、各階に設置されている談話室を利用してもよいとしました。

3) クラブ活動

クラブ活動に関して、高専機構からは、1週間の中で1日は確実に休みをとり、かつ、教員の負担を減らすように要請がありました。一応、岐阜高専では週1日の休みは、全てのクラブで取っていましたが、土曜日と日曜日に連続して試合を設定している運動クラブもあり、今後改善が必要と思っています。高専体育大会をやめたらというような意見もあるようですが、50年を超える歴史を持ち、学生が大変熱心に取り組んでいる現状

から、そのような対応でなく、別の方法で教員の負担軽減を考えたいと思っています。

4) グローバル高専事業と情報セキュリティ人材育成事業

高専機構からのグローバル高専の認定は、今年度も継続しており、予算措置も受けています。既に、本年5月の連休中にベトナムのハノイとホーチミンに行き、昨年度に締結した交流協定に加え、2つの大学との交流協定を結んできました。この8月には、中国を訪問して常州市の大学との交流協定を結びました。第3ブロックのグローバル化についても、この事業の中で対処する予定です。

また、岐阜高専は今年度から情報セキュリティ人材育成事業（準拠点校）に関しても、高専機構から指定がありました。本来は、昨年度までの実践校が準拠点校になるべきものでしたが、私が高専機構の情報戦略推進本部の副本部長（副CIO）と総合企画調整部門長を兼ねている事情もあり、準拠点校を引き受けることになりました。

5) デザコン2017と高専フォーラム

デザコン2017が、岐阜高専が主管校として本年12月2日（土）、3日（日）の2日間で、岐阜駅隣接の十六プラザで開催されます。昨年は、高知で開催され、私も参加しましたが、プログラムが5部門になり、大変大きな行事になっています。全校体制で、開催の準備を現在進めています。

また、2018年夏の3日間で、高専フォーラムが岐阜高専が主幹校となって開催されます。全国の51の国立高専と6つの公立高専の教職員が集まりますので、交通の便も考えて、会場として名古屋大学をお借りする予定をしています。高専機構とも連携して、周辺の大学や高専と協力して効率的でかつ有意義なフォーラムにする予定です。計画からプログラム作成まで、これも全校体制で準備する必要があります。

6) 教育体制の整備方針

高専機構全体の人件費比率が高くなっており、その対応が新たな教育体制の整備方針として高専機構から各高専に求められています。設置基準以上の教員を、学校全体の特別枠として、高専機構と相談して、効率化を図るとしています。その中で、人件費の抑制も検討する必要を迫られています。大変な状況が進行していますが、岐阜高専の教職員と一緒に何とかこの窮状を乗り切りたいと思っています。

教務主事・学生主事所感



学習成果の可視化

教務主事 熊崎 裕教

3ポリシー（アドミッション、カリキュラム、ディプロマ）の公表が義務化され、今年度から本校でもHPに開示した。主体性のある学生に対して、教育課程表、学修の方針や方法を明確にすることが要求された結果であり、本校APでも進められている学習成果の可視化（Learning Outcomes）とも深く関連する。米国では、学習成果を測定する指標として評定平均（以下、GPA）が用いられ、就職活動の際に学生が履歴書に記載し、企業側も採用基準として参考にするなど、学生の能力を示す一つの指標とされてきた。しかし、同じGPA値であっても大学によって基準が異なり絶対評価としての比較ができないなど、GPAに対する信頼が低下し学生の能力を客観的に示す方法が要求されてきたことが見直しの一因となったようである。

現在、進められている学習成果の測定指標の種類は、吉田によれば、以下のように2軸を基盤とした4類型に整理される¹⁾。2軸の一つは、学習成果の獲得が、教育活動や内容とどのように関わっているかによるもので、直接的な成果とは、当該分野の教育によるその分野の知識の向上、学位の取得など、当該分野の教育を受けたことにより得られる成果である。他方、間接的な成果としては、当該分野の学習を通して得られる論理的思考力などのジェネリックスキル、学生の達成感・満足感などの成果である。もう一つの軸は、学習成果の測定における直接性と間接性である。直接測定とは、身につけた能力・技能などをテストや卒業研

究などで直接的に測定するものである。間接測定される成果とは、カリキュラムが学習すべき能力に適合するように構成されている前提のもとで能力獲得を単位取得によって測定することや、学生自身が身についたと認識していることを測定することである。

学習成果測定指標の4類型²⁾

1. 教育による直接的な効果を直接測定する指標：卒業論文、定期試験、レポート、GPA、教育内容に直結した資格試験等の、質的、量的なものの両者
2. 教育による間接的な効果を直接測定する指標：Collegiate Learning Assessment (CLA)、Measure of Academic Proficiency and Progress (MAP)等の数量化が可能なジェネリックスキルの統一試験、公務員試験などの一般知識・知能試験等
3. 教育による直接的な効果を間接測定する指標：単位修得、卒業率等
4. 教育による間接的な効果を間接測定する指標：満足度アンケート、到達度アンケート等

上記の分類を基に、本校APや他の教育機関でも各種の方法により学習成果の可視化に取り組みられているが、共通認識が得られた全体像は見えていない。測定方法や評価基準が確立され、測定結果を有効に活用して学力向上につながると（学習到達度試験にも同様のことが言えるが）より有意義である。一方、本校の在学や卒業生の成長や活躍は現状でも実現されている可視化である。それらは個人的な能力や努力によるところが大きい。岐阜高専の教育がその一翼を担ったとなれば、我々教職員の大きな原動力になる。

参考文献

- 1) 「大学生の学習成果の測定をめぐるアメリカの動向（第3部第6章）」「大学教育を科学する：学生の教育評価の国際比較」山田礼子（編著）、(2009) 東信堂。
- 2) 「学習成果に係る標準指標の設定へ向けた検討：国立大学法人評価における評価結果報告書の分析から」大学評価・学位研究 第13号（2012） 渋井、金、林、伊田 大学評価・学位授与機構 研究開発部



クラブ活動とボランティア精神

学生主事 久保田 圭司

27年度から学生主事を担当しています。この業務は学生生活支援と学生指導を中心としていますが、その一つに課外活動、中でもクラブ活動関係の管理運営というものが有ります。組織的な議論をすれば、規約上はクラブ活動とは学生会活動の一部であり、学生会役員の体育局長の管轄下に体育系の部が15種類、同好会が1種類存在し、文化局長の管轄下に文化系（工学技術系を含む）の部が11種類、同好会が7種類存在し、報道局長の管理下に報道部が存在するということになります。ただし現実の活動に於いて学生会役員が管理干渉することはなく、部長を中心とする学生連部員と顧問教員が話し合いの下に運営し、事務的な側面では事務職員、経費的な側面では教育後援会を象徴とする保護者の皆様の援助を受けて活動しているのが実態だと思えます。

学生主事は年に3回開催されるクラブ顧問連絡会議の議長を務め、各年度の学校としてのクラブ活動に関する方針を教員に伝達依頼する立場にあります。また2年に1度は各教員対象に実施する希望調査を基に、クラブ顧問配置換えの作業も行います。その過程で実感することとして、本校でもクラブ指導に関しては教員間に認識の相違が相当あるという事態があります。指導に熱心な教員はいます。その最たるケースとして「部活動の運営は顧問教員が中心となつて行なうのが当然であり、活動の際には現場にいただけでなく、その日の活動の目標や方針を顧問が指示し、活動が終わった時には利用した施設が原状復帰されていることまで最終確認するのが当然の責務であり、これらを為していない教員は責任を果たしていない」として、他の教員を批判する勢力もあります。一方で、土日祝日にクラブ活動をする際に顧問教員が出勤しなければならない体制（後援会から指導手当を一定基準下に支給されているが、その額は本

来の意味での休日手当と比較して遥かに少額である実態もあり）は労働者としての教員の人間性を軽視したものであるといった意見も最近は多くなってきています。

私も一教員としてバレーボール部の顧問を担当していますが、休日の部活動立会や各種試合引率は、一種ボランティア精神に基づいて行われている側面を否定できないと思います。よって上述した2種類の意見のうち後者に関しては「教員にボランティアを校務という観点から強制している」点が焦点のように思われます。その上での私見ですが、ボランティア精神は相手だけでなく実施している本人の精神をも豊かにする側面があるのであり、全てが経済的利益に還元されていないからこそ、活動の豊かさを実感できる場所があると思っています。教員自身に該当クラブが実施している活動の経験や実績があり、技術的な指導ができる場合もありますが、そうでない場合（私の場合、バレーボールは中学校の体育の授業で9人制を体験したことしかありませんが、本校でバレーボール部の筆頭顧問になって20年以上が過ぎていますし、その間に必要から日本バレーボール協会公認指導者資格も取りました。ただし未だに技術的な指導はできないと思っていますし、部員達もその方面を私に期待はしていないと思います）でも、自分が立ち会い管理することで部活動が成立し、学生達が成長していく過程を見届けるのは心満たされるものがあります。

問題となるのはこのようなボランティア精神を各方面が周囲から強制することであったり、部員・教員・保護者といった関係者が互いに不満を抱き合って活動が順当に進みにくくなる状況があったりすることかと思えます。中学校では平日17時以降の活動や休日の活動を、学校のクラブ活動でなく地域のサークル活動と位置付けて再編成する動向が目立ち始めています。本校の上部機関である高専機構からは「週1日以上部活動休止日を設定すること、また1ヶ月に1回以上は土日のうち1日を休みにすること」という内容の周知が届いています。それぞれのクラブに於いて様々な活動を巡る人間関係があり、一律の規制で当事者の意志を越えた制限が為されるのも、相手の事情を越えた要求が為されて関係が悪化するのも望ましいことではないと思います。微妙な関係に基づいて動いている活動ゆえに、声高に主張することが必ずしも一律改善につながらないことになることも我々は意識した方が良いのではないのでしょうか。

新入生紹介

積極的に、仲間とともに

機械工学科 第1学年 佐藤 智博

高専に入学し、3ヶ月が経ちました。入学当初はクラスになじめるかどうか、とても不安でした。でも自分から声をかけていくうちにだんだん友達が増えていきました。今思えば誰もが友達が欲しいと思っていたのではないかと思います。部活は、テニス部に入りました。最初は走ることが多く辛かったです。でも仲間ががんばっている姿を見ると力が湧き、がんばることができました。優しく面白い先輩がテニスを教えてくれて、とても楽しく過ごしています。3年生くらいになると勉強が難しくなると聞くと不安になることもありますが、勉強も部活も今できることを一所懸命に取り組み、仲間と一緒に努力していきたいと思っています。

岐阜高専に入学して

電気情報工学科 第1学年 唐田 弦人

岐阜高専に入学する前、僕は、高専はとても自由で楽しい学校だということを聞いていました。そして高専に入学後、緊張から始まった学校生活では、多くの新しい仲間と出会い、球技大会などの行事があり、毎日とても楽しく過ごしています。高専生活はイメージしていた通り自由で、中学までの規律が崩された感覚で、正直とても清々しいです。しかし、やらなければならないこともたくさんあり、自由には責任を伴うものだと感じています。専門科目や数学などの授業が難しいですし、サッカー部での部活動などで忙しい毎日が続いています。今はまだ専門科目は少ないですが、これからどんどん増えてくるので、今からしっかり勉強する癖をつけておきたいと思っています。5年で卒業することを目標に掲げて、これからの生活を大切にしていきたいです。

岐阜高専に入学して

電子制御工学科 第1学年 藤田 有哉

私が岐阜高専に入学してから、約3ヶ月が経ちました。入学当初は、厳しい寮生活や、中学とは全く異なる授業に慣れることで精一杯でした。部活動も中学時代に比べて活動時間がずっと長く、初めのうちは本当に、めまぐるしく変わる環境に対して戸惑うばかりでした。しかし、今の生活に慣れて余裕が出来るようになってきました。初めは辛かった寮生活さえも、今では楽しく感じられます。部活動も、自分の好きなことをやれるので、まったく苦にならず、時間を忘れて没頭してしまいます。それに、部活動の先輩方もやさしく、面白い方ばかりなので、いつも楽しく活動できています。不本意ながら、授業の方には未だ慣れなくて、しばしば置いてきぼりを食うことがあります。そういう時でもクラスの仲間に相談すれば、授業の内容に追いつくことができます。クラスの仲間や先輩に助けられてばかりで前途多難ですが、このクラスで5年間、なんとか頑張っていきたいです。

新しい仲間たちと

環境都市工学科 第1学年 杉本 真菜

高専に入学して3か月がたちました。入学当初は新しい環境での生活が楽しいと感じていましたが、クラスメイトと仲良くできるか、授業についていけるかなど不安もたくさんありました。でも、初めはとても静かだった授業も、日々経過していくうちに打ちとけて今では皆の意見やつぶやきで、より深い内容まで学習できていると思います。

球技大会では、互いを応援し合い、総合優勝をすることができました。クラスが1つに団結したことを実感でき、心に残る楽しい思い出となっています。

専門科目の授業内容はとても難しく感じますが、クラスメイトたちと助け合いながら学んでいます。他にも、数学や化学などの一般科目があるので大変ですが、一生懸命勉強していきます。

岐阜高専に入学して

建築学科 第1学年 山田 愛璃

私が岐阜高専に入学したきっかけは、母に勧められた事です。そのとき岐阜高専について調べ、就職率が良い事、様々な資格が取得できることなどを知り、受験を決めました。岐阜高専は、1年生から高度で専門的な技術を学べる所が良いと思います。私は、製図の課題に取り組むなかで、日々新しい知識や技術が身についていくことを実感しています。90分授業は、最初は長く感じますが、慣れるまでそれほど時間はかからないと思います。中学校とは違って難易度が高く、付いていくのが大変なこともあります。授業時間以外にも先生方に質問したり、友人同士で教え合ったりすることで、理解を深めていけます。同じ学科の先輩に専門科目についてアドバイスを頂くことも出来るので、安心しました。最初は不安な事もありましたが、仲間や先輩、先生方のおかげで充実した生活を送ることができています。私は、岐阜高専に入って良かったと感じています。これからも、目標に向かって頑張っていきたいです。

新入生紹介

岐阜高専に入学して

機械工学科 第3学年 **ファイズ**

岐阜高専に編入して3ヶ月が経ちました。日本に来る前に海外へ行ったことは一度もありませんでした。日本へ行く準備として、マレーシアで約2年間日本語を勉強しました。日本語がまだ上手ではないので、日本に着いたばかりの時、色々な不安がありました。マレーシアでは、先生がゆっくり話してくれたので、授業の内容がよく分かりました。しかし、編入当初は、先生の話があまり分からなくて困ったところがたくさんありました。でも、担任の先生やチューターの学生、他の留学生達のおかげで、無事に過ごせるようになり、ようやく日本の生活に慣れてきました。岐阜高専での生活を楽しく過ごして勉強も頑張りたいです。

岐阜高専に編入して

環境都市工学科 第3学年 **シャミン**

岐阜高専に編入して、もう3ヶ月経ちました。マレーシアで2年間ぐらい日本語を勉強しましたが、まだ得意ではないので、最初はいろいろな不安がありました。授業があまり分からなかったし、日本人と会話が全然できませんでした。しかし、担任の先生やクラスメイトたちと他の留学生たちがいろいろなサポートしてくれたおかげで、高専の生活がだんだん慣れてきました。これからたくさん日本人の友達をつくって、日本で楽しく生活をして、一生懸命に勉強して行きたいと思っています。

岐阜高専に編入して

建築学科 第3学年 **キム**

カンボジアから来たキムです。岐阜高専に来る前に、一年間 東京日本語教育センターで日本語を勉強し、今年建築学科に編入しました。岐阜高専に来たばかりの時に、授業についていけるか、友達とのコミュニケーションができるか心配していました。最初は授業で先生の話聞き取れなかったもので、分からないことが多くて、大変でした。しかし、友達、先輩方、チューター、先生方特に担任先生が優しくいろいろなことを教えてくれたおかげで、勉強ができるようになって来ました。今3か月がたち、寮の生活に慣れてきました。

日本にいるうちに、色々な新しいことを経験して、日本の技術も、専門の知識も頑張って勉強していきたいと思います。

新たな一歩を

先端融合開発専攻 第1学年 **永田 和仁**



この高専だよりの原稿依頼が来てから、自分の置かれている状況というものを改めてよく考えてみました。入学するのは簡単な面接のみでとても楽でしたし、生活も本科時代とほとんど変わらず、穏やかな日々を過ごしていますが、本科時代の友人たちは、苦勞して入った企業や大学で様々な刺激を受けつつ忙しくしていると聞きます。私は本科と変わらぬ状況にあり、ぬるま湯に浸かっているようなのだと気づかされます。先端融合開発専攻と仰々しい名前がついていますが、それに見合う自覚もなく、これではいけないのではないかと焦りを抱くようになりました。この状況を脱するには、積極的に社会や世界を知って、将来的な自分の姿を意識して生活することではないかと思うようになりました。大事だと思うのは、専攻科のカリキュラムを受動的にこなすだけでなく、新たなことに能動的にチャレンジするということです。与えられた2年間を無駄にせず、仰々しい名前に恥じない学生生活を送りたいと思います。

学級担任紹介 (第1学年)

空 健太



- 担当クラス** 機械工学科第1学年
- 担当科目** 歴史(1年)、法学(4年)、社会倫理学特論(専攻科2年)
- 趣味** テニス、読書
- 担任としての抱負、その他**

昨年度までも機械工学科の担任をしておりましたが、今年度も再び機械工学科の担任を務めることになりました。機械工学科は例年、競争しつつもクラス全体でいろいろなことに全力で取り組もうとする良い意味での協調性がある学科ですが、今年度の1年生にはその雰囲気を感じます。このクラスはきっと、高校と大学の良いところを併せ持つ高専の本当の意味でのよさ、すなわち規律と主体性を兼ね備えたクラスになってくれるでしょう。担任として彼ら(彼女ら)の成長を見守っていきたいと思います。

野々村 咲子



- 担当クラス** 電気情報工学科第1学年
- 担当科目** 英語
- 趣味** 子どもの頃は嫌いだった手芸やピアノを、最近楽しんでいます。
- 担任としての抱負、その他**

入学当初は不安と緊張でいっぱいだった1Eですが、徐々に学校生活に慣れてきて、最近では程よい緊張感を保ちながら楽しそうに過ごしている様子が見られます。1Eは、周りの子を思い遣って声掛けてくれる優しい子が多く、また、勉強と部活を両立させて一生懸命頑張れる子が多いので、とても嬉しく頼もしく感じています。この5年間で、時には深く思い悩みながら、積極的に多くを学んで、大きく成長していくことを期待しています。互いに切磋琢磨し合う中で心から信頼できる関係を築いていけるように、注意深く見守っていきたいと思います。

北川 真也



- 担当クラス** 電子制御工学科第1学年
- 担当科目** 数学
- 趣味** 高専正門向かいの韓国料理店でランチすること。
- 担任としての抱負、その他**

クラス担任は7年目となり、恒例行事の諸連絡等は正確かつ手早く行えると自負しております。しかし、学生一人ひとり個性があって、クラス全体の雰囲気も年毎に(構成員毎に大きく)変化しますので、初心に帰って学級指導にあたる所存です。私は大阪大学の院生だった頃に、お手玉の全国大会で優勝したり、けん玉のパフォーマンス大会で特別賞を頂きました。高校時代から地域の小さな催し等で披露してきた成果だと思います。数学教員として学習面を支えるだけでなく、学生達が色々な事に挑戦できるように応援したいと思います。

八木 真太郎



- 担当クラス** 環境都市工学科第1学年
- 担当科目** 数学
- 趣味** ソフトテニス、各種モータースポーツ、音楽、数学
- 担任としての抱負、その他**

岐阜高専に着任して3年目で、初めて学級担任をしています。今年度からソフトテニス部の筆頭顧問にもなり、毎日を忙しく感じているところです。一方で、授業や部活で学生と接する中で感じる充実もあります。何を重視するかはとても難しい問題ですが、自分のスタイルや考えをもって一生懸命やっていき、結果として学生が成長していく姿を見るのはとても楽しいです。直接は学生に対する指導に結びつかないかもしれない他業務も、この充実感があると少しずつでも頑張ることができそうです。これからも学生と真摯に向き合っていく所存です。

堅田 陽子



- 担当クラス** 建築学科第1学年
- 担当科目** 国語A(1年)、総合国語(4年)
- 趣味** 音楽鑑賞(特にスピッツとEGO-WRAPPIN'が好きです)
- 担任としての抱負、その他**

はじめて学級担任になりました。担当科目は国語です。十代後半という時期には、学問に打ち込むとともに、感受性を伸ばしてほしいという思いがあります。この時期に知った音楽や文学は、その後の人生を特に強く支えるものとなることが多いようです。また、損得勘定のように単純な合理性を重視していると、一緒にいて心安まるような友人はできません。どういう人でありたいか、どういう人にはなりたくないか、色々と考えて、自分の美学を育ててほしいと思います。1Aの学生が素敵な建築家になる将来を想像しながら、見守っていきたいです。

学級担任紹介 (第3学年)

河野 託也



- 担当クラス** 機械工学科第3学年 ●**担当科目** 応用物理Ⅰ、Ⅱ、Ⅲなど
- 趣味** スポーツ観戦(野球, テニス, ラグビー, 卓球など)、緑のカーテン作り
- 担任としての抱負、その他**

2年間の豊田高専機械工学科への人事交流を終え、この春に岐阜高専に戻りました。私も皆さんと同じ岐阜高専で学生生活を送りました。そのため、これまでは他高専の様子は人伝程度にしか知りませんでした。機械工学科の学習内容について比較すると、本校の内容はとて高いレベルです。本科から就職・編入学した卒業生どころも同じ事を言っています。そのため学習内容を自身のもとして定着させるためには、不断的努力(復習を十分に実施)を要します。現在のクラス状況は、前期中間試験が終わり、各自が学習に対する改善点を自覚し、次の試験に向けて努力をしています。このように各自が目標や課題を持ち1年間通じて学習に励めば、1年後には良い結果を得られると信じています。

担任としての目標は、学生各自の高専卒業後の明確な進路目標を持てるように指導と助言を行うことです。また、学生各自の学業面はもちろん、人間性についても、大きく成長できる1年になることを願っています。

白木 英二



- 担当クラス** 電気情報工学科第3学年 ●**担当科目** 電気情報工学実験、量子エレクトロニクス
- 趣味** スポーツ観戦、映画鑑賞
- 担任としての抱負、その他**

年度初めに「自分、友人、クラスを大事に」というクラス目標を立て取り組んでいます。3年生になり専門科目が増え、楽しくもあり大変でもある学年になりました。自分の能力を向上させるために、授業はもちろん課題に一生懸命取り組んでほしいと思います。時間に余裕があれば課外の活動に精を出すのも良いでしょう(実践技術ポイントを重ねよう)。自分が一生懸命であると同時に、友人も一生懸命でしょう。共に勉強しあえる、励まし合える仲間でありたいですね。3Eは個性豊かでグループでの活動にも協力的なクラスです。良いクラスであり続けられるよう私も全力でサポートしていきます。

福永 哲也



- 担当クラス** 電子制御工学科第3学年 ●**担当科目** 電子制御工学概論、電気磁気学Ⅰ、計測工学、デジタルシステム基礎/応用
- 趣味** サッカー、読書
- 担任としての抱負、その他**

学生が将来について考え始める時期です。また、学生は社会の様子でわからないことが多く不安を抱えていると思います。そこで、必要な情報をしっかりと与え自分の考えをまとめていけるようにしたいと思います。また、これから生きていく人生においてどんな楽しいことが待っているのかを伝えていけたらと思っています。

渡邊 尚彦



- 担当クラス** 環境都市工学科第3学年 ●**担当科目** 応用物理、応用数学、耐震工学
- 趣味** 折紙、将棋、ピアノ
- 担任としての抱負、その他**

「俺はコーヒーがすきだという主張と俺は紅茶がすきだという主張との間にはコーヒーと紅茶の優劣についてのディスカッションが成立する余地はない。…自己内対話とは自分のきれいなものを自分の精神の中に位置づけ、あたかもそれがすきであるかのような自分を想定し、その立場に立って自然的自我と対話することである。」3年は様々な考えとのぶつかり合いが現れる時期ですが、実は一人ひとり違うものだという関係性の中でいろんな立場に立った見方をし課題解決への合意に至る、そんな技術を身につけてほしいと思いますし、深みある対話を楽しめる場を提供していきたいと思っています。

今田 太一郎



- 担当クラス** 建築学科第3学年 ●**担当科目** 建築計画、建築設計製図など
- 趣味** 音楽鑑賞・建築鑑賞・読書・釣りなど
- 担任としての抱負、その他**

私が研究者として地域の中に入り、様々な地域づくり program に関わる中でいつも気づくことは、生き生きとした魅力ある活動が起こり、それが地域を活性化させている場所には常に自由で常識に囚われない発想をする若者たちがいるということです。そこでは工業、音楽、文学、popculture、folklore(民俗)、商業など様々な分野が交錯し新たな現象が生まれます。交錯するものが多いほど多面的で、興行きがあり魅力的です。

おそらく、10年後、20年後の未来は、多様な価値観が豊かに混じり合ったものになる。その未来の主役は君たちです。君たちの様々な興味を掘り下げてください、勉強も趣味も。最初はバラバラだったものが、やがてつながりあって新しい価値を生み出す筈です。そこに未来があります。

学級担任紹介 (第4学年)



山田 実

- 担当クラス** 機械工学科第4学年
- 担当科目** 制御工学Ⅰ、Ⅱ、機構学、ロボット工学など
- 趣味** 古建築・近代建築巡り
- 担任としての抱負、その他**

論語に「学んで思わざれば則(すなわ)ち罔(くら)し」という孔子の言葉があります。4学年はインターンシップや高専祭など多くの行事や機械工学科には創生工学実習があり、この言葉のように学んだ知識に対していろいろ考える機会があります。これらの経験を通して考え理解し、学んだことを真に自分のものとしてできればと思っています。皆さんが卒業までの2年間で大きく成長されることを楽しみにしています。



安田 真

- 担当クラス** 電気情報工学科第4学年
- 担当科目** 情報数学、人工知能
- 趣味** 寝る
- 担任としての抱負、その他**

さて、世が世ならばその悪魔的容貌と悪魔的笑い声で悪魔認定されて火炙りになったであろう Francis Crick であるが、博士課程では“to measure the viscosity of water”という“dullest problem imaginable”に取組むハメとなった。しかし、天は Crick を見捨てなかった? 助け?? は意外すぎるどころからやってきた。飛行機から投下されたパラシュート爆弾が、“scored a direct hit on the carefully constructed viscosity apparatus”をやったのけたのだ。…というわけで皆さん、何事も諦めの悪さが肝心。待てば海路の日和あり???



栗山 嘉文

- 担当クラス** 電子制御工学科第4学年
- 担当科目** 電子制御工学実習 材料力学
- 趣味** 柔道、家具作り
- 担任としての抱負、その他**

学生の進路に関わってくる重要な学年である一方で、経験や手際に至っては他の先生よりも未熟な所が多々あると思います。しかし学生が本当にやりたいこととマッチングできるような進路に出会えるように、持てる力の全てを出すことはもちろん、先輩先生の協力も仰ぎながら頑張っていきます。



岩瀬 裕之

- 担当クラス** 環境都市工学科4年
- 担当科目** コンクリート工学、基礎実験 など
- 趣味** 読書、植物の世話
- 担任としての抱負、その他**

2013年オックスフォード大学から「今後 AI の発達によってなくなる可能性が高い職業」が発表されました。会計士の94%、裁判官の40%が職を失う可能性があるとのこと。土木技術者は1.9%で、「AI 化されない」職業とされています。創造力やマネジメント能力、コミュニケーション能力などが求められるためであると言われています。土木技術者が安泰に見えますが、AI 化された分野の人たちが得意技術を持って建設分野に移動してくると思われれます。負けないよう各自が能力を高める必要があります。インターンシップや専門展などの体験を通じて能力を高めてください。



青木 哲

- 担当クラス** 建築学科第4学年
- 担当科目** 環境工学Ⅱ、建築工学実験Ⅱ 他
- 趣味** ドライブ、鉄道(乗り鉄)、作曲(DAWを利用)、庭の手入れ(雑草抜き)
- 担任としての抱負、その他**

4年生の担任は3回目・8年ぶりになります。第4学年ではインターンシップ、専門展、研修旅行など、多数のイベントがあり、その一方で、学業成績、研究室配属、進路決定など、悩むことも多い1年です。悩むことは悪いことではありません。いろいろと考えた上で、最終的に自分で意思決定することが、きっとプラスに働きます。2019年3月には、全員が笑顔で卒業の日を迎えられるよう、私は裏方としてサポートしていきたいと思っています。

東海地区高専体育大会結果

●第55回東海地区国立高等専門学校体育大会成績について

第55回東海地区国立高等専門学校体育大会を豊田工業高等専門学校が主管校として実施されました。本校の選手も各競技種目に参加し、日頃の練習成果を発揮しました。ラグビー・フットボール競技については、10月29日(日)に開催予定です。なお、各競技種目の成績は、次のとおりです。

競技名	競技種目	成績	氏名	備考
陸上競技	学校対抗男子総合成績	優勝		
	男子100m	2位	西脇 一輝(5D)	
	男子200m	優勝	西脇 一輝(5D)	全国大会出場
	〃	2位	日置 智則(4D)	全国大会出場
	男子400m	優勝	後藤 壮(5A)	全国大会出場(辞退)
	〃	3位	日置 智則(4D)	全国大会出場
	男子800m	優勝	深尾僚太郎(5C)	全国大会出場
	〃	2位	末松 杏介(5C)	全国大会出場
	男子1500m	2位	末松 杏介(5C)	全国大会出場
	〃	3位	深尾僚太郎(5C)	
	男子5000m	3位	根本 一樹(5A)	
	男子110mH	2位	後藤 壮(5A)	全国大会出場
	男子400mH	3位	高橋 直人(1M)	
	男子4×100mR	優勝	井藤 修也(4D)・井上 雄太(3C)・後藤 壮(5A)・西脇 一輝(5D)	全国大会出場
	男子4×400mR	優勝	西脇 一輝(5D)・深尾僚太郎(5C)・後藤 壮(5A)・日置 智則(4D)	全国大会出場
	男子走高跳	3位	岡村悠太郎(2D)	
	男子三段跳	優勝	蜂谷 敏志(4C)	全国大会出場
	〃	2位	檜山 佳希(5A)	
	男子砲丸投	優勝	伊禮 悠平(5E)	全国大会出場
	〃	2位	戸崎 太星(5M)	
	男子円盤投	優勝	戸崎 太星(5M)	全国大会出場
	〃	2位	安江 歩夢(4A)	
	男子やり投	優勝	安江 歩夢(4A)	全国大会出場
	〃	2位	伊禮 悠平(5E)	全国大会出場
	女子100m	2位	原 美幸(5C)	
	女子800m	優勝	佐藤 夕貴(2C)	全国大会出場
	〃	2位	寺田 美希(4A)	
	〃	3位	山崎 真梨(2A)	
	女子3000m	優勝	寺田 美希(4A)	全国大会出場
	〃	2位	佐藤 夕貴(2C)	全国大会出場(辞退)
	〃	3位	山崎 真梨(2A)	全国大会出場
	女子100mH	3位	堺 晴香(2C)	
女子4×100mR	2位	堺 晴香(2C)・江崎 隼香(3A)・堺 公香(4C)・夏目妃那子(2A)	全国大会出場	
女子走幅跳	優勝	堺 公香(4C)	全国大会出場	
〃	2位	高木 瑞花(3A)		
女子走高跳	3位	高木 瑞花(3A)	全国大会出場	
女子砲丸投	2位	大野可南子(4C)		
〃	3位	長谷川 楓(5A)		
女子円盤投	2位	古川 芽依(3E)		
女子やり投	優勝	古川 芽依(3E)	全国大会出場	
〃	2位	夏目妃那子(2A)		
男子団体	3位			
男子個人シングルス	優勝	奥田 貴斗(4M)	全国大会出場	
男子個人ダブルス	優勝	藤原 悠真(3C)・林 誠也(3D)	全国大会出場	
男子団体	優勝		全国大会出場	
男子個人シングルス	優勝	木村 千春(2E)	全国大会出場	
〃	2位	渡辺 聡史(3M)		
〃	3位	大里 深(1A)		
〃	3位	馬場 恵助(4E)		
男子個人ダブルス	優勝	馬場 恵助(4E)・木村 千春(2E)	全国大会出場	
〃	2位	宮川 大和(3C)・渡辺 聡史(3M)		
〃	3位	奥山 翔(5A)・岡田僚太郎(4A)		
女子団体	優勝		東海北陸地区代表 決定戦敗退	
女子個人シングルス	優勝	大里 柚(4A)	全国大会出場	
〃	3位	渡邊 悠加(5A)		
女子個人ダブルス	優勝	渡邊 悠加(5A)・大里 柚(4A)	全国大会出場	
男子団体	2位			
男子個人ダブルス	優勝	戸崎 洗平(4A)・森 温輝(5A)	全国大会出場	
〃	3位	高尾 友貴(4A)・松尾 泰我(4A)		
女子団体	2位			

競技名	競技種目	成績	氏名	備考
サッカー		2位		全国大会出場
	男子団体戦	優勝		全国大会出場
	男子個人60kg級	優勝	大内 誠直(5C)	全国大会出場
	〃	2位	牟田 麗人(1E)	
	〃	3位	奥村 泰大(4C)	
	男子個人73kg級	優勝	加納 諒一(4E)	全国大会出場
	〃	2位	山下 達也(3M)	
	〃	3位	渡邊 猛(3A)	
	男子個人90kg級	優勝	松久 聖(3M)	全国大会出場
	〃	2位	日下部 完(3E)	
	〃	3位	牛丸 亮幸(3M)	
	男子個人90kg超級	優勝	中井 満輝(5C)	
〃	2位	大坂 磨秋(4M)	全国大会出場	
〃	2位	丹下 賢人(3C)		
バレーボール	男子	3位		
	女子	3位		
硬式野球		2位		
剣道	男子団体戦	2位		
	男子勝抜戦	3位		
	女子団体戦	優勝		全国大会出場
	女子個人戦	2位	岡 葉菜乃(4E)	全国大会出場
ハンドボール		3位		
	男子団体	4位		
卓球	男子個人シングルス	優勝	大塚 友貴(3M)	全国大会出場
	男子個人ダブルス	3位	大塚 友貴(3M)・三田 愛也(3M)	
	女子団体	優勝		
	女子個人シングルス	優勝	山本 香穂(5C)	全国大会出場
	〃	3位	大野 友菜(2A)	
	女子個人ダブルス	優勝	山本 香穂(5C)・大野 友菜(2A)	全国大会出場
水泳	学校対抗総合成績	優勝		
	学校対抗男子総合成績	優勝		
	学校対抗女子総合成績	2位		
	男子50m自由形	2位	宮脇 敦士(3D)	全国大会出場
	〃	3位	伊藤 綾佑(1A)	
	男子100m自由形	2位	祖父江晃也(2D)	全国大会出場(辞退)
	〃	3位	伊藤 綾佑(1A)	全国大会出場(線上)
	男子200m自由形	2位	祖父江晃也(2D)	全国大会出場
	男子400m自由形	3位	大野 雄基(5D)	
	男子100m背泳ぎ	優勝	河野 真輝(5M)	全国大会出場
	男子200m背泳ぎ	3位	河野 真輝(5M)	
	男子100m平泳ぎ	2位	水野 優希(4D)	全国大会出場
	男子200m平泳ぎ	2位	水野 優希(4D)	全国大会出場
	男子100mバタフライ	優勝	山本 凌(3D)	全国大会出場
	〃	2位	栗本 竜希(1C)	全国大会出場
	男子200mバタフライ	優勝	栗本 竜希(1C)	全国大会出場
	男子200m個人メドレー	2位	松波真之介(1M)	全国大会出場
	男子400mフリーリレー	2位	祖父江晃也(2D)・栗本 竜希(1C)・伊藤 綾佑(1A)・山本 凌(3D)	
	男子400mメドレーリレー	2位	栗本 竜希(1C)・水野 優希(4D)・山本 凌(3D)・祖父江晃也(2D)	
	男子800mフリーリレー	優勝	河野 真輝(5M)・石田 珠海(2M)・伊藤 綾佑(1A)・大野 雄基(5D)	
女子50m背泳ぎ	3位	細川 貴子(3A)		
女子50mバタフライ	2位	前田かれん(4A)		
女子100m自由形	優勝	前田かれん(4A)	全国大会出場	
女子100m平泳ぎ	3位	田中 歩葉(1C)		
女子200mフリーリレー	2位	田中 歩葉(1C)・安藤さやか(5A)・細川 貴子(3A)・前田かれん(4A)		
バスケットボール	男子	優勝		東海北陸地区代表 決定戦敗退
	女子	2位		
ラグビーフットボール				10/29(日)東海地区大会開催予定

※個人種目については第3位以上を掲載

全国高専体育大会結果

●第52回全国高等専門学校体育大会成績について

第52回全国高等専門学校体育大会を小山工業高等専門学校が主管校として実施されました。本校の選手も各競技種目に参加し、日頃の練習成果を発揮しました。なお、各競技種目の成績は次のとおりです。

競技名	競技種目	成績	氏名
陸上競技	男子学校対抗	2位	
	男子200m	2位	西脇 一輝 (5D)
	〃	5位	日置 智則 (4D)
	男子400m	4位	日置 智則 (4D)
	男子800m	2位	末松 杏介 (5C)
	〃	4位	深尾僚太郎 (5C)
	男子1500m	3位	末松 杏介 (5C)
	男子110mH	3位	後藤 社 (5A)
	男子400mH	2位	後藤 社 (5A)
	男子3000mSC	3位	根本 一樹 (5A)
	〃	5位	吉田泰一朗 (5D)
	男子4×100mR	2位	井藤 修也 (4D)・ 三宅 悠輝 (4M)・ 後藤 社 (5A)・ 西脇 一輝 (5D)
	男子4×400mR	優勝	決勝： 西脇 一輝 (5D)・ 深尾僚太郎 (5C)・ 後藤 社 (5A)・ 日置 智則 (4D) 予選： 西脇 一輝 (5D)・ 深尾僚太郎 (5C)・ 安江 友登 (4M)・ 日置 智則 (4D)
	男子三段跳	8位	蜂谷 敏志 (4C)
	男子砲丸投	5位	伊禮 悠平 (5E)
	男子円盤投	3位	戸崎 太星 (5M)
	男子やり投	優勝	伊禮 悠平 (5E)
	〃	2位	安江 歩夢 (4A)
	女子学校対抗	2位	
	女子200m	8位	原 美幸 (5C)
	女子800m	2位	佐藤 夕貴 (2C)
	女子3000m	5位	寺田 美希 (4A)
	〃	6位	山崎 真梨 (2A)
	女子4×100mR	3位	堺 晴香 (2C)・ 江崎 陽香 (3A)・ 堺 公香 (4C)・ 原 美幸 (5C)
女子走幅跳	2位	堺 公香 (4C)	
女子走高跳	4位	高木 瑞花 (3A)	

競技名	競技種目	成績	氏名
陸上競技	女子走高跳		長尾 里奈 (2A)
	女子やり投	4位	古川 芽依 (3E)
テニス	男子個人シングルス		奥田 貴斗 (4M)
	男子個人ダブルス		藤原 悠真 (3C)・ 林 誠也 (3D)
バドミントン	男子団体		
	男子個人シングルス		木村 千春 (2E)
	男子個人ダブルス		馬場 恵助 (4E)・ 木村 千春 (2E)
	女子個人シングルス		大里 柚 (4A)
	女子個人ダブルス	3位	渡邊 悠加 (5A)・ 大里 柚 (4A)
ソフトテニス	男子個人ダブルス	優勝	森 温輝 (5A)・ 戸崎 洗平 (4A)
サッカー			
柔道	男子団体	優勝	
	男子個人60kg級		大内 誠直 (5C)
	男子個人73kg級	3位	加納 諒一 (4E)
	男子個人90kg級	優勝	松久 聖 (3M)
	男子個人90kg級 超級	3位	大坂 磨秋 (4M)
剣道	女子団体戦		
	女子個人戦		岡 葉菜乃 (4E)
卓球	男子個人シングルス		大塚 友貴 (3M)
	女子個人シングルス		山本 香穂 (5C)
	女子個人ダブルス	3位	山本 香穂 (5C)・ 大野 友菜 (2A)
	女子地区対抗戦	2位	
水泳	男子50m自由形		宮脇 敦士 (3D)
	男子100m自由形		伊藤 綾佑 (1A)
	男子200m自由形		祖父江晃也 (2D)
	男子100m背泳ぎ	8位	河野 真輝 (5M)
	男子100m平泳ぎ		水野 優希 (4D)
	男子200m平泳ぎ		水野 優希 (4D)
	男子100mバタフライ	優勝	山本 凌 (3D)
	〃	8位	栗本 竜希 (1C)
	男子200mバタフライ		栗本 竜希 (1C)
	男子200m個人メドレー		松波真之介 (1M)
	女子100m自由形		前田かれん (4A)

※成績結果は入賞（陸上競技・水泳は8位以上が入賞）のみ明記

平成28年度学業成績優秀者賞表彰

4月28日（金）平成28年度学業成績優秀者賞表彰式を本校にて開催しました。平成28年度に各学級において、最優秀の学業成績を修めた第2～5学年学生及び外国人留学生のうち最優秀学生1名を学業の範を示したことを讃え表彰しました。

学年	学科	氏名
2年	機械工学科	諏訪 太陽
2年	電気情報工学科	笠原侑一郎
2年	電子制御工学科	大倉 秀夫
2年	環境都市工学科	二山 友美
2年	環境都市工学科	横山みのり
2年	建築学科	井川実乃里
3年	機械工学科	長縄 友弥
3年	電気情報工学科	古川 芽依
3年	電子制御工学科	西脇 想起
3年	環境都市工学科	若原 巧実
3年	建築学科	松村 咲南
4年	機械工学科	野田 大智
4年	電気情報工学科	神谷 龍治

学年	学科	氏名
4年	電気情報工学科	丹羽 拓実
4年	電子制御工学科	有坂 承
4年	電子制御工学科	澤井 伸次
4年	電子制御工学科	山本 岳志
4年	環境都市工学科	諸橋 果歩
4年	建築学科	岩井 瑠
5年	機械工学科	花崎 健太
5年	電気情報工学科	鈴木 理央
5年	電子制御工学科	岩切 萌
5年	環境都市工学科	岡田 萌花
5年	建築学科	野村 太地
4年	建築学科	ヘングソペアック

公開講座・入試説明会

平成29年度公開講座 一覧表

講座名	日時	受講対象	募集人員	受講時間	講座の概要	受講料有無
きのくにロボットコンテスト 中学生部門	①7月16日(日) 9:30~15:30 ②10月15日(日) 13:30~15:30	中学生	20人	7時間	「全日本小中学生ロボット選手権」(中学生部門)の岐阜県代表決定戦を実施する。1回目は大会の課題説明とロボットキット組み立て講習会を行う。2回目は、参加者が作製したロボットによる競技を行い、県代表者を決定する。	無
きのくにロボットコンテスト 小学生部門	①7月16日(日) 9:30~12:30 ②10月15日(日) 10:00~12:00	小学生	20人	7時間	「全日本小中学生ロボット選手権」(小学生部門)の岐阜県代表決定戦を実施する。1回目は大会の課題説明とロボットキット組み立て講習会を行う。2回目は、参加者が作製したロボットによる競技を行い、県代表者を決定する。	無
電子楽器を作ろう —マイコンを使った電子工作—	8月6日(日) 10:00~17:00	小学校5・6年生、 中学生	20人	6時間	マイコンと圧電スピーカーを用いて電子楽器を製作する。現在予定している楽器の種類は、弦の無い弦楽器や、息を吹きかけると音のでるトロンボーン、たたくと光って音になるドラムであるが、参加者のレベルや経験に合わせて、製作する楽器は選択できるようにする予定である。製作を通じて電子回路の知識とプログラミングの知識を身につけることができる予定であり、完成品も持って帰ることが可能である。	受講料は無料、 但し、材料費 1,000円/人が 必要
電子回路の組み立てと ロボットの製作	9月30日(土) 10:00~16:00	中学生	20人	5時間	電子部品やブレッドボードを使って回路製作の基礎を教える。またフォトリフレクターと呼ばれるセンサーを用い、白および黒色を判別する回路設計を行う。さらに、この回路を応用し、ライトレースロボットの作製を行う。ライトレースロボット作製後はミニ競技を実施し、製作したロボットの性能を競う。	受講料は無料、 但し、ロボット 部材費2,300 円/人が必要
「夢を地図に残す 環境都市工学入門」～地図をつくってみよう～	10月21日(土) 10:00~12:00	小学校 中学年 以上	15人	2時間	地図に残る“モノ”をつくる時に欠かせない“測る”をテーマに、簡単な測量を体験してもらう。また、UAV(ドローン)やレーザースキャナによる最新の測量技術を紹介する。	無
すまいづくり入門(設計図編)自分の理想のすまいを作ろう	8月19日(土) 10:00~16:00	中学生・保護者・ 中学校教諭	20人	6時間	人々の生活の場所である「すまい」について、環境・構造・計画の3つの側面からの講義より、具体的に「すまい」を考える視点を学びます。これを活かして最後の演習の時間で、講師全員と参加者が協力して、「理想のすまい」の計画を図面に表現します。	無
はじめての七宝焼き	8月3日(木) 13:00~16:00	社会人・中学生	15人	3時間	一般社会人、中学生を対象に与えられた素地(既に成型された銅板)ブローチ、ペンダントから選択してもらい図柄を思考してもらいます。素地に絵、柄を描いてもらい、その上に釉薬(色)を置いて電気炉にて焼く(七宝焼の製作をしてもらいます)。張付ピン、張付蝶タックを付け完成させる。	無
すまいづくり入門(インテリア編)3Dプリンタで家具を作ろう	8月26日(土) 10:00~16:00	中学生・保護者・ 中学校教諭	20人	5時間	人々の生活の場所である「すまい」について、インテリアの講義により具体的に「すまい」を考える視点を学びます。これを活かして、演習の時間では3DCGソフトと3Dプリンタを使って家具を作り、インテリアコーディネート体験を行います。	無
LEDを使ったミニイルミネーションを作ろう	9月10日(日) 9:30~12:00	中学生以上 (小学校5・6年生 対応可)	10人	2.5時間	青色が開発されてからLEDは、クリスマス・イルミネーションなどで多用され、様々な分野でも利用されている。この講座では、そのLEDに親しむ目的で、色々なLEDを組み合わせて、点滅する楽しいイルミネーションを作る。	無

入試説明会日程(平成30年度入試)

月日	時間	会場及び場所
6月17日(土)	13:30~15:30	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260
7月22日(土)		アイプラザ宮(一宮市若竹町3-1-12) TEL(0586)77-6612
7月23日(日) ※下記参照	10:00~12:00 13:30~15:30	岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260
8月6日(日)	13:30~15:30	彦根勤労福祉会館(彦根市大東町4-28) TEL(0749)23-4141
8月19日(土)		瑞浪市総合文化センター(瑞浪市土岐町7267-4) TEL(0572)68-5281
8月26日(土)		岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑2236-2) TEL(058)320-1260
12月3日(日)		

※7月23日は午前と午後の2回行いますが、対象は次のとおりです。

午前…岐阜地区(岐阜市、羽島市、各務原市、山県市、瑞穂市、本巣市、羽島郡、本巣郡)の中学校

午後…岐阜地区以外の中学校

なお、各会場とも説明する内容はほぼ同じです。ご都合のよい会場・開催日にお越しください。

新任教職員紹介



一般(人文) 堅田 陽子

私が初めて岐阜高専に来たのは非常勤講師としてで、平成25年のことでした。担当した1年生の言動が大人びていたので、「若年で専門的な学問に飛び込める人たちは、私が15歳の頃とは心の育ち方が違うなあ」と驚いたものです。以来、毎年出会うおもしろい学生たちのおかげで、楽しくて学びの多い日々を過ごしてこられたことを、本当に感謝しています。これからもよろしくお願ひします。



一般(人文) 阪上 弘彬

2017年4月1日付で一般科目(人文)に着任いたしました。専門は教育学(社会科教育学)で、社会科の授業設計や教授法、持続可能な開発のための教育(ESD)を研究しています。社会科の学習を通じて、学生の皆さんが技術者として将来活躍する場である「社会」や取り組むべき社会の課題について知ったり、考えたりできる機会を提供したいと考えています。今後ともよろしくお願ひ致します。



一般(自然) 渡邊 慎

本年度より一般科目(自然)に着任いたしました。昨年度は理化学研究所で朝から晩まで研究に明け暮れていました。岐阜高専に来た理由は、元々教員を目指していたこと、そして、私自身が研究に着手してみて分かった「物事の本質を見出すこと」の楽しさを学生にも伝えたいと思ったからです。学生の皆さん、物理でも化学でも、私を困らせる質問を募集しています。



電気情報工学科 富本 悠公

本年度4月に電気情報工学科に着任いたしました富本 悠公(とみもと ひろまさ)と申します。宇部高専の本科・専攻科を卒業後、山口大学大学院で学位を取り、この岐阜高専に参りました。これまでの10年間、私は学生として高専に関わってきました。これからは教員として、自身が高専で積んできた経験や学び培ってきたことを還元できればと考えております。微力ではございますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



環境都市工学科 川端 光昭

本年度4月1日より環境都市工学科に着任いたしました。出身は兵庫県神戸市で、大学進学以降の15年間を新潟で過ごしました。環境都市工学は、人が快適に過ごせるまちを造り、災害から人の命や生活を守る学問です。学生の皆さんが、この学問に理解を深め、熱い思いをもった技術者・研究者として活躍してもらえよう、お手伝いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。



建築学科 上原 義己

平成29年4月1日付で建築学科に着任いたしました上原義己です。昨年度まで、琉球大学の博士課程で研究を行っていましたが、縁あって岐阜高専に勤めることになりました。専門は建築材料で、主にフレッシュコンクリートに関する研究を行っています。コンクリートは非常に身近で、かつ最も重要な材料の一つです。学生の皆さんにも、コンクリートの魅力に気づいてもらい、一緒に学んでいきたいと思っています。



総務課契約係 服部 光一

平成29年4月1日付で名古屋大学財務部契約課から総務課契約係に配属となりました服部と申します。名古屋大学では主に、職員の給与計算、共済組合、入札手続き業務に関わらせていただきました。高専は、キャンパスの環境や、規則、業務の流れなど大学と違う部分が多くあり、戸惑うことが多々ありますが、大学での経験を活かして、岐阜高専の発展に貢献できるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。



総務課契約係 片岡 寛大

平成29年4月1日より総務課契約係としてお世話になっております片岡と申します。出身大学は理工系で、契約係の仕事とは直接関係ありませんが、物事を多面的に捉えて物事を進めていく感覚を生かして、毎日の業務を大切にしていきたいと考えております。微力ではありますが、岐阜高専の発展のために少しでもお役に立てるように尽力してまいりますので、よろしくお願ひいたします。



学生課学生係 三浦 拓也

平成29年4月1日付で学生課学生係に新規採用いただきました。前職は機器メーカーでハード設計として、主に板金図面をかいていました。前職と畑違いの業務となり、日々戸惑ってばかりですが、諸先輩方の指導の元、少しずつ仕事を覚えていくところです。学生皆さんの本校での学生生活が少しでも円滑に、よりよいものになるよう、微力を尽くす所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

校外実習報告

はじめての海外

機械工学科第4学年 秋吉 宏哉

中国に海外インターンシップで5日間行きました。現地では銅屋バイテックでの工場実習のほか、企業訪問や常熟理工学院での交流会などを行いました。私はこのインターンシップに行く前は中国についてわからないことが多く不安でしたが、実際に行ってみると、食べ物がおいしく、空気もきれいで今まで思っていた中国の印象とはだいぶ違っていました。また企業の方々や大学の学生の皆さんの話を聞いて、日本と中国との違い、モノづくりに対する考え方、生活様式や習慣の一部などを客観的に学ぶことができ、大変貴重な経験ができました。今回のインターンシップを企画、準備していただき、本当にありがとうございました。これからはもっと視野を広げ、海外でも活躍できる人材になれるよう学業に励み、より充実した学生生活を送りたいと思います。



写真は右から秋吉 宏哉、4M小倉 大将

インターンシップを通して

電気情報工学科第4学年 田中 慶

私はIT企業である株式会社トゥ・ステップ本社にて10日間のインターンシップに参加しました。前もってHTMLを勉強してからインターンシップに臨み、最初の数日はHTMLでサイトを作成しましたが、他の学生に比べてクオリティは高くありませんでした。しかし、HTMLの知識を増やすことができたため、次回はより良いものができると思います。サイトの作成の他にサーバー処理のプログラムも作成しましたが、自分にとってかなり難しく、社員の方の力を借りることが多くありました。

今回のインターンシップを通して、自分の力不足を痛感しました。また、チームでの共同作業の難しさを楽しめることができ、とても充実した10日間を過ごすことができました。この10日間で学んだことを活かして、これからの高専生活を有意義なものにしていきたいと思います。

コダマ樹脂工業株式会社のインターンシップに参加して

電子制御工学科第4学年 長崎 力

1日目の午前中にコダマ樹脂工業株式会社の企業理念、業務、規則等を知り、射出成形・ブロー成形の工場、試験室、事務所を見学させていただきました。その後は、製造課は1.5日、品質管理課、生産技術課、管理課は各1日単位で各部署に就き、業務内容の説明及び体験、現場の見学と簡単な実習をさせて頂きました。最終日は16時以降、工場長にKYT訓練を内容とした安全教育をしていただきました。

各部署に就き、業務を体験させていただいて、どの課にも力仕事や長時間の立ち作業があり体力がないときつい仕事だなと感じました。しかし、普段の生活では学べないことが体験できたので、とても面白さを感じました。

また、本社工場の方のみならず、他の企業の方とも接することができたため、コミュニケーション能力についても学ぶことができ、自分の未熟さについても知る事ができました。

(株)不動テトラ 中部支店でのインターンシップ体験

環境都市工学科第4学年 渡邊 歩

私はゼネコン会社の中の地盤改良を専門として行う部署に行きました。主な業務内容は発注者や設計コンサルタントへの提案・設計であり、依頼された案件に対して最適な地盤改良工法を考える、というものです。

軟弱地盤が抱える問題には、すべり破壊、地盤沈下、地震時の液化化などがあります。私も実際に業務で用いられている計算・解析ソフトを使い、地盤の安定計算を行いました。また、地盤改良工法の原理、特徴、設計方法などを学び、地盤改良工法のプランの比較図や提案書を作成する業務、地盤改良後の効果報告書を作成する業務なども行いました。さらに、民間コンサルタントの方との打合せの場にも参加させていただきました。

地盤に関する問題はすべての構造物に共通するものであるため、地盤改良事業は活躍できる範囲が非常に広く、また、この会社では地盤改良工事に関して計画・設計から工事まで様々な形で携わることができるそうです。自らの判断が工事に直接影響を与えるので責任感ややりがいにつながるのだと感じました。

今回のインターンを通して、実際の業務内容や会社の雰囲気だけでなく、専門的な分野で働くということの楽しさが分かり、とても貴重な経験となりました。

インターンシップを終えて

建築学科第4学年 木村 彩乃

私は、人々の生活や産業の基盤を支えるなど非常に重要な役割を担っているインフラ企業に興味を持ち、東京ガスのサマーインターンシップに参加しました。「ガスを調達する、つくる、運ぶ、活用する」という流れを学び、実際に定期点検を行う現場や緊急保安業務を行う現場に足を運んで、ガス会社の仕事を肌身で感じる事ができました。

その中でも、ガス漏れの現場では緊迫する雰囲気の中、まず第一にお客様の元へ行き丁寧に説明を行うことで、不安な気持ちを取り除いている社員の方の姿を見て、ガスという強みが突然弱みになってしまう危険性を常に背負いながらもお客様の「安心・安全」を支えるインフラ企業としての責任感を強く感じました。今回のインターンシップを通して、理想の社会人像を明確にできたので今後の就職活動の軸としていきたいです。

海外インターンシップ

イギリスでのインターンシップ

先端融合開発専攻 1年 青木 皓平

私は、9月11日から3週間、イギリスにある TYK-Limited 様での海外インターンシップに参加させていただきました。TYK では日本の岐阜県多治見市に本社をもち、主に製鉄のために必要となり、高温・高熱産業にとって欠かすことのできない耐火物を製造しています。今回の実習においては、製品のもととなる材料の荷重試験や品質管理から、実際に出来上がった製品の梱包する作業を手伝ったりと、幅広く実習体験をさせていただきました。一週目はイギリス人が話すスピードの英語をほとんど聞き取ることができず、返答も Yes、No、OK などの簡単なものしか話すことができませんでした。しかし、工場で働く人々はとても親切で、ジェスチャーを交えたり、何度も作業中に問題はないか、質問はないかと聞いてくれたりしたおかげで、次第に英語にも慣れ、英語でコミュニケーションすることの楽しさが分かってきました。最終週にはある程度自分の話したいことも伝えられるようになり、ジョークも交えて楽しく会話することができるようにもなりました。

また、私にとって今回の海外インターンシップが初めての海外経験となり、実習前は不安でいっぱいでした。しかし、イギリスで勤務されている日本人の方々、様々な観光場所や、伝統ある食事を体験させてくれたり、ホテルの手配や洗濯まで親切に対応していただいたおかげで、不安もなくなり、楽しく、充実した実習を送ることができました。

最後に、このような貴重な体験をさせて下さった TYK 様、TYK-Limited 様、親切にお世話していただいた、今枝様、土屋様、小出様、堤様、並びに関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



バンドン生活

先端融合開発専攻 1年 浦崎 新八郎

私は、9/4からインドネシア・バンドン工科大学 (ITB) で3週間の実習を行っています。私自身、インドネシアへの渡航は二度目でしたが、やはり初めは日本との文化や習慣・環境の違いに戸惑いました。それでもインドネシアの人たちは親切でフレンドリーな人が多く、実習時だけでなく、食事や観光などの普段の生活でも大きなサポートを受けています。バンドンは避暑地ということでそれほど暑くなく、夜は日本の夏より涼しく過ごしやすいです。実習では、Arduino を用いた水位制御を行っています。実習内容自体はそう難しいものではありませんが、実習で何か問題が発生した際の意思疎通の難しさにはとても苦労しています。しかし、このような場合でもしっかりと専門知識が持っていればなんとか意思疎通を図ることができることも分かりました。そして、海外で実習を行うことで、TOEIC など計るものとは違う英語力の重要性を強く感じています。

また、ITB の学生には、いろいろな所へ食事や観光に連れて行ってもらいました。バンドンには、ITBをはじめ、オランダ統治時代に造られた古い建物が多く残っている一方で、モスクのようなイスラムな建築物もあり、多様な文化が混ざったとても新鮮な光景です。そして、日本とは違う風味の料理を味わい、違いを楽しんでいます。そんな中で驚くのは、インドネシアのスパイスの辛さです。ほんの少量でも舌に痛烈な熱さと痛みを残すスパイスを大量に料理に混ぜて食べているインドネシア人には驚愕しか感じません。最後に、このインドネシア生活を支えてくれた岐阜高専と ITB の先生方、ITB の学生の皆さん、共に渡航した友人たち、そして家族に感謝します。



マレーシアを訪れて

先端融合開発専攻 1年 臼井ルーク裕也

私は22日間マレーシアのジョホールバルという町にあるマレーシア工科大学でインターンシップをしました。マレーシアは日本から飛行機で約5時間と、比較的に近い国であるが、同じアジアとは思えないほど違いがたくさんあります。

まず、マレーシアでは日本と大きく異なり、様々な人種や国籍の人が混合して生活しており、主に中華系、マレー系、インド系の3つの人種の人々が人口が成り立っています。各人種ごとで独特の習慣や宗教があり、マレーシアの街並みではこれら多民族的な風習を見ることができ、ものすごいバラエティーの食べ物や服装があります。また、マレーシアではマレー語、英語、中国語、アラブ語、韓国語など数多くの言語が日常で使われており、一般的にはこれらをミックスして会話をしています。

マレーシアではこのような、文化的な違いは当たり前であり、人々はお互いの身体的、及び精神的違いを受け入れて、お互いに協力しながら共存しています。このため、マレーシアは非常に文化的に豊富な国であるだけでなく、ものすごくカラフルで力強いコミュニティが形成されており、マレーシアはとてもフレンドリーで優しい人が多い国です。機会がある人はぜひ訪れてみてください！



トリノ工科大学タシケント校インターンシップ

先端融合開発専攻 1年 橋本 拓実

私はウズベキスタンのタシケントにあるトリノ工科大学タシケント校へ、インターンシップで8月9日から3週間ほど参加させていただきました。私はこの海外インターンが初めての海外渡航だったので、不安でいっぱいでしたが、現地学生が親身になってサポートしてくれたので、そういった不安は解消されました。トリノ工科大学タシケント校では arduino を用いたロボット製作を課題として与えられました。具体的な内容としては、ロボットの進行方向に障害物があった場合、ロボットが壁に当たる前に舵を切り、壁を避けるというものでした。私たちは機械工学科出身の学生でプログラミングの知識があまりなくプロジェクト当初から行き詰ってしまいましたが、交換留学生がプログラムの初歩から懇切丁寧に教えてくださったので、最終的にはプロジェクトを無事完遂することが出来ました。現地学生と過ごすことでウズベキスタンの文化にも触れることが出来ました。建造物は日本とは違って、レンガとタイルで構成されています。ウズベキスタンの歴史的建造物は屋根がドーム状になっており、装飾は青と白のタイルで精巧に作られています。建物で大きいもので20~30mほどあり、遠くからでもその巨大さに圧倒されました。食に関しては米や肉に香辛料を効かした料理が多くある印象を受けました。最後になります。今回のインターンシップの機会をくださった岐阜高専の方々、私たちを温かく受け入れてくれたトリノ工科大学タシケント校の方々、海外に行くにあたって支援してくださった家族に心から感謝いたします。



海外インターンシップ・研究室紹介・校内ニュース

ドイツ・ハノーファーでの実習を終えて

先端融合開発専攻 1年 橋口 喬太

気象学の学習、異文化体験、英語での生活、実習での3週間はすべてが新鮮で、人生で忘れられない貴重な経験となりました。今回、私はドイツのハノーファー大学で3週間の実習をさせていただきました。実習先は気象学の研究室でしたので、ドイツ北部のブレーマーハーフェンにある気候変動ミュージアムに連れて行って頂き、大学では気化熱の実験を行わせていただきました。普段学習する機会のない他分野を理解することは容易ではありませんでしたが、とても興味深い体験でした。休日には、ドイツの首都ベルリンや港町のハンブルク等の有名な観光地を案内してもらいました。欧州ならではの街並みや建造物の外観、発展した鉄道や地下鉄、物価、親切で真面目な人間性など、日本と似た点から全く異なる点まで様々な発見があり、異文化発見と同時に日本を再認識する良い機会にもなりました。英語での会話は容易ではなく、日常会話において上手くコミュニケーションがとれないこともあり、自身の英語力の低さを痛感すると同時に、英語学習への意欲向上の良い機会となりました。しかしながら、英語での自己紹介・研究紹介のプレゼンを担当教授の方に褒めていただけたときはとても自信ができました。日本語の使えない状況下に置かれたことで自らの英語力を把握することができ、とても良い経験となりました。

最後に、海外インターンシップの機会を与えて下さった家族および岐阜高専関係者の皆様、並びに、実習期間中に面倒を見て下さったハノーファー大学の方々に深く感謝致します。海外インターンシップならではの成果を、今後の学校生活に役立てていけるよう努めていきます。



海外インターンシップを終えて

先端融合開発専攻 1年 大野 開世

僕と藤澤の2人はアメリカのアイオワ大学で3週間の研修を行いました。自分自身アメリカに渡航するのは初めてであり期待もありましたが不安も大きくありました。当たり前ですが現地では言葉も英語であれば文化も環境も違います。そのため、自分の学んできた英語力や知識、適応力が必要になってきます。そんな不安があった中、アイオワ大学に到着し、まず、初めに驚いたことは、アイオワ大学は大学と町とが一体になっておりとても広いということです。そして一つ一つの建物も大きくアメリカという広大な土地ならではのスケールの大きさを感じました。実習が開始となりアメリカでの3週間の生活もスタートしました。アイオワ大学はとてもきれいでありホテルもほとんど不自由なく生活することができました。しかし、やはり英語の壁に幾度となくぶつかりました。担当してくれる研究室の先生、現地の学生との会話、レストランなどでの飲食店での注文など様々な場所、場面で常が必要となります。何とか食らいつきながら理解して話しますが、なかなかうまく伝えることができません。しかし、現地の人はとても優しく親切にしてくれました。これはとてもうれしく思いました。その反面、伝えたい言葉をなかなか伝えられない悔しさやしてなかなか自分を表現できないもどかしさも同時に感じました。この実習を経て自分自身がより成長できたと思います。それは、実習中に感じたことは自分にとって必ずプラスに動くと考えます。しかし、何もなければ意味がありません。そのため、この実習で感じた様々な気持ち、そして経験、これを忘れずに努力を続けていきます。



研究室紹介

建築学科 櫻木 耕史

本研究室では、①建物が作る空間の魅力・感覚・行動特性の解明、②岐阜県内の中山道の空間の特徴、③子ども達が様々な年代の人達と活動するための環境づくりの3つのテーマで研究を行っています。

①の研究では、右図のように歩いている人が、三叉路で左へ曲がろうとしていますが、このとき人が建物や建物の集まりから感じる魅力のような感覚と、歩く速さといった行動との関係を調べています。

「人が豊かに住む」というのは数式では表現出来ませんし、回答は人それぞれ無数にあります。数式では解決できないので、工学系の学問では異色の存在です。研究室で学んだ学生が、人々のより豊かな「暮らし」を支える人材となってくれることを目指して研究に取り組んでいます。



校内ニュース

平成30年度編入学者選抜検査

平成30年度編入学者選抜検査を次のとおり実施しました。
願書受付：平成29年7月31日(月)～平成29年8月2日(水)
検査日：平成29年8月22日(火)
検査科目：数学、英語、専門科目、面接
検査会場：本校
合格発表：平成29年8月25日(金)

区分	志願者数	受検者数	合格者数
電気情報工学科	1	1	0
電子制御工学科	1	1	1
建築学科	1	1	1
合計	3	3	2

※機械工学科、環境都市工学科は、募集なし

平成29年度科学研究費助成事業

(学術研究助成基金助成金/科学研究費補助金) 採択件数

	研究種目	基盤研究(C)	挑戦的研究(萌芽)	若手研究(A)	若手研究(B)	学術図書	奨励研究	合計
件数	継続	11	0	2	0	0	0	13
	新規	3	1	0	4	1	1	10

新入生研修

1学年主任 空 健太

4月、本校の副校長である教務主事・学生主事による新入生研修が実施されました。ここでは、学年主任の立場から、

校内ニュース

講演の中で語られた高専における学業の重要性について、改めてお伝えしたいと思います。

高専における学業が重要だということは、強調してもし過ぎることはありません。高専は就職・進学に恵まれており、その教育内容も国内外で高く評価されています。しかし、それは入学し在籍していれば将来が保証されたわけではありません。あくまでも恵まれた学業の機会や環境を得たということです。例えば、高専では毎年、何人かの留年生が出てしまいます。これは成績評価によって進級判定を厳格に行っているということの意味します。そのため、一人ひとりの学生が自己の将来の目標を見出し、それに向かって努力することが求められます。「留年しない」といった低い目標(?)を設定し、高専の学業をどうにか「やり過ごす」学生にならないようにしてほしいと思います。

サークル活動リーダー研修会

学生主事補佐 **中谷 淳**

全てのクラブ、および同好会の代表者とマネージャ、そして会計担当者を対象としたサークル活動リーダー研修会を5月17日(水)、図書館多目的ホールで開催しました。本年度は26クラブ(報道部は欠席)、および6同好会(活動休止中2同好会を除く)が参加しました。

研修会では、学生会会計局長から各クラブへの予算配分案が提示され、全てのクラブから了承されました。引き続き、学生主事補佐が「課外活動の手引き」に基づき、課外活動の在り方、アルコールハラスメント防止について指導を行いました。そして、本年度から大幅に変更となったクラブ予算の運用方法について総務課財務係長が詳細な説明を行いました。

研修会に続き、各クラブ、同好会の学生、そして顧問教員を対象とした熱中症予防講習会を実施し、大塚製菓の派遣講師から暑い夏場の課外活動を事故無く乗り切るための水分補給や体調管理について学びました。

岐阜高専の献血活動

学生主事補佐 **中谷 淳**

学校の社会貢献活動の一環として毎年2回に亘り実施されている献血ですが、第1回が5月22日(月)に実施されました。今回は受付者数74名のうち実際に献血できた人は62名(内訳200ml:16名、400ml:46名)でした。

また、従来は学生会で作成していた周知用ポスターですが、本年度からは、業務負荷軽減、およびリソース有効活用の観点から、日本赤十字社から学校へ提供して頂いているポスターを各教室に掲示することとしました。

第2回は10月28日(土)の高専祭公開日に実施予定ですので、より多くの方のご協力が期待されるところです。

岐阜高専のMSリーダーズ活動

学生主事補佐 **中谷 淳**

MSリーダーズ活動とは岐阜県警察による少年警察ボランティアの一環として行われている高校生が自発的に取り組む「生徒の生徒による生徒のための非行防止・規範意識啓発活動」です。本校においても1年生から5年生までの“学

生”が参加し、学生会副会長指揮の下で学校周辺の清掃活動を中心に実施しています。

本年度の登録者数は116名で学生会役員、各クラスの評議員と風紀局員に加え有志の学生が登録しています。本年度は4月26日(水)に清掃活動予定でしたが雨のため中止となりました。7月12日(水)に北方警察署の方が来校され、MSリーダーズ認証式が実施されました。

オープンキャンパス2017

教務会議委員 **小栗 久和**

8月5日(土)、平成29年度の本校オープンキャンパスが開催されました。受験を間近に控えた中学生・保護者の皆様に、入試説明・学科催し物等を通じて、本校の実態・魅力を紹介し、少しでも多くの中学生に、本校を進路の選択肢としてもらう事を目的として、毎年開催しております。

本年度の参加者は中学生465名、保護者561名、中学校の先生3名の合計1029名でした。参加者がより多く見込める日程に変更したことが功を奏したのか、昨年度の参加者600名に比べて、大幅な参加者増となりました。

催し物内容は、例年通り、入試説明、各学科紹介(実験・デモ等)、ロボットコンテストに出場するロボットのデモ、クラブ活動の披露でした。5年生を中心とした学生諸君が、プレゼンテーション能力を発揮して、分かりやすくさわやかに専門内容・学校の状況等を説明してくれ、アンケート調査でも、本校学生に対して高い評価とお褒めの言葉を頂きました。

広報活動のメイン行事として、来年度も引き続き開催して参りますので、お知り合いに一声掛けて頂くなど、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

今年の岐阜高専 AP の取り組み

教育 AP 推進室長 **所 哲郎**

岐阜高専は外部資金として獲得した本年度の AP 予算で、次のことを推進して行きます。学生含め関係各位の主体的な活動推進をお願いします。

- ①教室の ICT 化は前年度で完了しましたので、本年度は5学科に「サイエンスcommons」を展開します。ICTを活用した、ものづくりの協働スペースを各科で展開します。
- ②4学年全学生の「ブログ」実施を支援し、卒業へ向けたキャリア育成をサポートします。
- ③教室無線 Wi-Fi 環境を学生に開放します。データ課金を気にすること無く、ICT 活用が可能です。
- ④「数学」と「プログラミング」の教育を支援します。IoT やインダストリー4.0へ向けた、今後の学修の要です。
- ⑤本校 LMS の「企業技術者一押し45課題」を全学生に開放します。実社会で要求される学びが可視化されています。
- ⑥実践技術単位ポイントの自己申請を進めます。学生一人一人の学修成果が蓄積・可視化され、ポートフォリオと成ります。

以上の他にも、本校の教育改革を推進し可視化しますので、改善提案等あれば、是非お知らせ下さい。

<http://www.gifu-nct.ac.jp/AP2014/>

公開講座紹介

公開講座

「はじめての七宝焼き教室」

技術室 第1技術班 奥村 政充

8月3日(木)に「はじめての七宝焼き教室」を開催しました。

この教室は、伝統工芸の技法である七宝焼きを、オリジナルアクセサリィを作ることで体験してもらうものです。参加者の皆さんは、初めて行う七宝焼き独特の作業に悪戦苦闘しながらも、個性あふれる作品をみごとに作られました。

完成したきらきらと輝く七宝アクセサリィを鑑賞しながら、次はこんな作品を作りたいと早くも来年の参加を宣言する方もみえました。



公開講座

「すまいづくり入門～インテリア編」

技術室 第2技術班 鬼頭 彩

今回の講座は建築学科と技術室が連携し、8月26日(土)に18名の中学生、一般の方に受講頂きました。

インテリア編では、午前は家具の形や歴史について学びました。午後は実際に手を動かし、CGソフトで椅子モデルを作成し、3Dプリンタで出力した椅子を室内模型に置き、それぞれ自分の部屋をコーディネートしました。

3Dプリンタのデモでは皆興味津々で眺めていたのが印象的でした。



きのくにロボットコンテスト

機械工学科 山田 実、宮藤 義孝、高橋 憲吾

7月16日(日)に機械工学科公開講座として全日本小中学生ロボット選手権の予選会に出場する小中学生向けに、ロボット組み立て講習会を開催しました。全日本小中学生ロボット選手権は11高専と1地区で予選が行なわれ、12月に和歌山県御坊市で全国大会が開かれる大会です。小学生部門には30名の応募がありましたが、抽選により22名が参加しました。中学生部門には17名の参加がありました。

今年は小学生部門がロボットでローブを運ぶ競技です。講座では基本となる6足歩行ロボットキットを組み立てました。中学生部門は輪投げで、タミヤのロボットキットを組み立てました。そして、ロボットを各自完成させ、10月15日(日)に本校での予選競技会に持ち寄り、岐阜地区の代表として各部門2チームを選出します。

なお、今回は付き添いの保護者向けに学科見学会を開催しました。



公開講座「電子楽器を作ろう」

電気情報工学科 田島 孝治、白木 英二、柴田 欣秀、冨本 悠公

本年度の電気情報工学科の公開講座では、マイコンを使った電子工作を実施した。参加者はピアノ、ドラム、ギターの種類から好きな楽器を選んで製作を行った。参加者は小学生から中学生までの20名で、教員と本科の学生が補助を受けながら電子回路、マイコンで動かすプログラム、プラスチック段ボールなどを使った外装を約5時間かけて製作した。参加者の自由な発想に学生がアドバイスを加え、それぞれが自分のオリジナル作品を作りあげていた。講座の最後には発表会を行い、お互いに作品を紹介しあった。



学寮ニュース

平成29年度前期寮生会役員名簿

副校長（寮務主事） **麻草 淳**

前期寮生会役員はまず、4/4（火）の役員研修にて今年度の寮運営に関する議論を行ないました。その方針のもとに半年間の各寮運営、各種寮行事を取りまとめてきました。

役職名	学年	学科	氏名
寮長	5	C	安藤 祐輝
副寮長	5	E	坂井 晴哉
書記長	5	D	高木 郁憲
広報委員長	4	M	日比野輝也
会計委員長	5	A	青井 凱飛
厚生委員長	4	D	木戸 俊佑
文化委員長	4	A	水谷 嘉宏
企画委員長	4	C	中畑 列賀
会計監査	4	M	小倉 大将
会計監査	4	A	柳田 大地
A寮総代	3	M	服部 右京
B寮総代	3	E	森 晴樹
C寮総代	3	M	杉永 侑翼
D寮総代	5	A	一色 寛登
第1女子寮総代	4	A	岩井 蛍
第2女子寮総代	5	E	江崎あかね
留学生寮総代	4	A	ソペアック
選挙管理委員長	5	D	平澤 彦大

寮生保護者懇談会

副校長（寮務主事） **麻草 淳**

平成29年度寮生保護者懇談会は、5月20日（土）10時から本校図書館センター多目的ホールを主会場として開催されました。出席者は、保護者120名程と学校側から学校長、寮務主事、事務部長をはじめ寮務関係教職員計11名、寮生会役員8名でした。

懇談会は以下の内容で進行しました。

- 1) 合同懇談会（多目的ホール）
- 2) 寮棟別懇談会
男子寮（多目的ホール）
女子寮（ビデオルーム）
- 3) 昼食
- 4) 教育後援会総会

合同懇談会では学校長挨拶、寮務主事による運営方針と現状報告、入寮式以降の寮行事の様子等の報告の他、寮務係長から寄宿舎経費収支報告を行ないました。

全体会・寮棟別懇談会を通し、保護者の皆様から率直な御意見御提言をいただきました。今後の寮運営に反映させていきたいと思っております。

寮祭

副校長（寮務主事） **麻草 淳**

寮の恒例行事である寮祭は、寮生会執行部を中心に5月12日（金）晩に演芸大会、13日（土）午前に餅つき、夕方からはBBQ、夜にはお楽しみ会などの行事を実施しました。

雨天のため、餅つきは寮食堂内で行なうこととなりましたが、昼前には雨も上がり、BBQの準備は予定通り行なうことができました。たくさんの食材が用意され、皆お腹一杯まで食べる事ができたようです。



演芸



餅つき



BBQ

寮での生活

電子制御工学科 第1学年 **則武 暖人**

僕は愛知県出身のため、岐阜高専に入学した際には寮で生活することになるだろうと考えていました。そのためある程度の心構えを持って入学しましたが、入寮時に寮には様々なルールがあることを知り驚きました。

はじめのうちは、それらルールなど覚えることに苦労しましたが、仲間もでき、彼らと日々を送るうちに寮生活に楽しみを見いだせるようになりました。現在では適度に自由で快適な生活を送ることができています。

寮生活では「けじめ」と「挨拶」が大切であると考えています。これは社会に出てからも大切なことなので、これからもそれらをきちんとできるように心掛け、集団生活における規律やマナーを守りより良い寮生活が送れるよう努めたいです。

集団生活で大切なこと

電子制御工学科 第1学年 **鈴木 英園**

入寮前、私は知り合いのいない高専に一人、ましてや親から離れて暮らすことに、とても不安を感じていました。

入寮してからは、たくさんある規則を守り、常に、周りの人に迷惑をかけないように気を配るよう過ごしてきました。しかし、先輩方に迷惑をかけてしまい、注意されることもありましたが、寮でできた友達と励まし合い、寮の生活にも慣れてきました。そして今では楽しい時間を過ごせるようになりました。

寮では大変なこともあります。これから仲間と共に高め合い大切な思い出を作っていきたいです。

クラブ紹介・ロボコンチーム紹介

ESS 部

English Speaking Society

電子制御工学科 第4学年 有坂 承

ESSとはEnglish Speaking Societyの略で、Speakingとあるように英語を話すことに重点を置いた活動をしています。

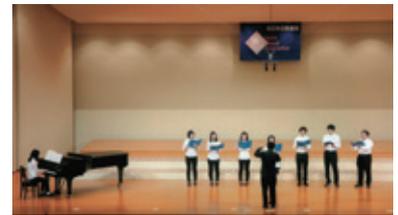
一口に「英語を話す」といっても海外旅行、日常会話、留学や仕事などシチュエーションによって求められるレベルは様々です。ESSではそれぞれの目指すレベルに到達できるように、3年生を中心に下級生に発音や文法を教えたり、留学生や外国人の先生と話したりすることで英語力を磨いています。また毎年開催されている高専英語スピーチコンテスト、高専英語プレゼンテーションコンテストにも参加しています。個々の目標に向かって自主性を持って活動しているので、自分のやる気があれば大きな力が得られるのがESS部の一番の魅力です。

合唱部

クラブ紹介（合唱部）

合唱部顧問 羽瀨 仁恵

合唱部は、平成19年9月にコーラス同好会として活動をスタートし、今年でちょうど10年目を迎えます。設立当初、最初の演奏は女子学生のみで4人でした。その後、部員が増え、男子学生も入り混声で演奏できるようになりました。中京テレビ「サタメン!!!」に出演し「翼をください」を演奏するなど活躍が認められて、平成23年にコーラス同好会から合唱部に昇格しました。岐阜県の各地で開催される合唱祭に毎年出演しており今年度は10回出場で表彰されました。10月には、地元の合唱団として本巣市ハーモニーフェスティバルに各務原児童合唱団と共演しています。また、市民合唱団と共演してサラマンカホールや岐阜市文化センターで演奏会を行っています。今後は、自主的に学生が活動して一人前の部として認められるようになるように願っています。



ハンドボール部

着実に進歩を遂げて

建築学科 第5学年 林 幹也

今年の東海地区高専大会での勝利は、8年ぶりだそうです。思い返すこと4年、東海地区の予選で1勝もできず引退していく先輩たちの姿を、私は見てきました。今年の高専大会も予選敗退となりましたが、全国高専大会出場はもはや夢物語ではありません。高校生チームは今年のインターハイ予選で、県ベスト8まで勝ち上がりました。

外部指導者と顧問教員のおかげで、より質の高い練習に励むことができる環境が整ってきました。私たちハンドボール部は、今や最も勢いのある部活の一つであると感じています。他の部活動の活躍に負けないよう、これからも日々の練習に打ち込んでいきます。



ロボット研究会

ロボコンチーム紹介

ロボット研究会顧問 田島 孝治

今年のロボットコンテストは30周年記念大会です。4月にだれでも参加できるロボコンを実施したり、ロボコンとテレビアニメのコラボを行うなど、力が入った年となっています。大会テーマは「大江戸ロボット忍法帳」です。2台のロボットが様々なアイデアを駆使し、相手のロボットや風船を割りあいます。人の手が届かないような位置にある風船や、動いている相手ロボットの風船を正確に割る技術を競い合います。風船は紙やすりをつけたおもちゃの刀で割るだけでなく、各チームが自作する、風船を割るための「秘密道具」があり、ロボットの多様性を高めています。

岐阜高専からはロボット研究会の4年生が中心となり製作するロボット「柿's (カキーズ)」と3年生、2年生が製作する「NOBU.gifu (ノブジフ)」の2チームがエントリーしています。4年生の主要メンバーは2年生から大会に参加し、昨年度は自分たちで初めてのチームを結成してロボコンに参加したものの、製作が予定通りに進まず本番ではパフォーマンスを十分に発揮できないという苦渋を味わってきました。今回は、挑戦的な技術だけでなく、これまでの蓄積を生かし安定したロボット作りでチームに取り組みんでいます。2、3年生チームは少ない3年生に2年生が積極的に協力してなりたっているチームです。ロボカップなど研究要素の高いロボコンに中学生から挑んできたメンバーが、挑戦的なロボットの制作を進めています。

地区大会は10月15日に三重県伊勢市、全国大会は12月3日に有明コロシアムにて実施されます。昨年度の雪辱を果たすべく、部員一同頑張っておりますので、応援のほどよろしくお願い申し上げます。